

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	教育相談（Educational Counseling）		
ナンバリングコード	K20108	大分類 / 難易度 科目分野	教職科目 / 標準レベル
単位数	2	配当学年 / 開講期	2 年 / 後期
必修・選択区分	教職関係科目（必修）		
	※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	K001551	クラス名	-
担当教員名	川上 雄一郎		
履修上の注意、 履修条件	教職科目として必修科目になるため、児童・生徒の模範となるような受講態度を心がけてください。 授業への参加状況と授業態度を重視して評価をするため、座席指定とします。 授業中にタブレットやスマートフォン検索をすることはないので、机上にタブレットやスマホを置いて 講義を受けたりすることがないように注意してください。		
教科書	「よくわかる教育相談」 春日井敏之・伊藤美奈子編 ミネルヴァ書房		
参考文献及び指定図書	「生徒指導提要」等の必要な資料等はこちらで準備します。		
関連科目	教育心理学、学校心理学、生徒指導論、特別支援教育論		

○基本情報		
授業の目的	教育相談を進めるにあたり児童・生徒の心身の状態を観察しつつ、個々の心理的特徴や教育的課題を適切にとらえ、心の支援に必要な基礎的カウンセリングの知識と技法を身につける。 また今日的な課題である、いじめ問題、不登校問題及び支援を必要とする児童・生徒に対するカウンセリングの知識及び技法を理解できるようになる。	
授業の概要	学校教育現場における教育相談の必要性と理論や相談技法について学ぶ。 学校教師の生徒に対する「指導」と、いわゆる「カウンセリング」との違いがあいまいになっていることが多い。 児童・生徒や保護者との相談における教師の話し方一つでも、大きな溝ができたり、結果として生徒のやる気問題や不登校問題にまで発展するケースが珍しくないことまで理解したい。 ＊基本的に毎回の講義中のレポート課題、あるいは事例問題を考えながら講義を進める。 講義の途中段階で各自の理解度を確認するレポート課題をその都度提出してもらう。 講義期間の後半は、実際によく取りあげられている児童・生徒に関する相談事例問題に取り組み、提出してもらう。	
	(1) 授業の形式	「演習形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「グループワーク」
地域志向科目		
実務経験のある教員による授業科目	小学校での教員経験を活かし、具体例を問題提起しつつ、教員に必要な学校心理学に関する専門的知識や実践的指導力を身に付けさせたい。	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	学校現場の諸課題をよく理解し、「教育相談」の内容及び技法を熱心に理解しようとする意欲や態度が見られる。			20点
【知識・理解】	教師としての普通の児童・生徒とのかかわり方や、相談の在り方について基礎的知識を身につけ、児童・生徒の心の成長を援助する技法を理解している。		10点	
【技能・表現・コミュニケーション】	事例問題演習等に主体的に参加することができる。課題レポート等の意味をよく理解し適切な文章表現ができる。	20点		15点
【思考・判断・創造】	学校現場及び児童・生徒における「問題行動」に対して、総合的な観点から考察し、教員の立場に立って自分の意見をまとめることができる。	20点		15点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
○講義中の受講態度(講義を聴く態度及びノートに記録する態度)は、上記成績評価基準(無形成果)のとおりの50点満点である。 ○講義中に演習問題を実施し評価する。課題レポート1回あたりの評価基準は以下の通り。 5点 授業内容をよく理解し、要点をつかみ自分の意見も述べることができる。 4点 授業内容をよく理解し、要点をつかんでいる。 3点 授業内容をだいたい理解し、まとめることができる。 2点 授業内容を一部は理解しているが、全体的に理解できていない。

○その他
・できるだけ本シラバスの授業計画に示した点について予習・復習に取り組み、毎回受講すること。 ・教職課程科目の中でも重要かつ教師としての責任感を必要とする科目であるので、「自分が教師の立場であったら、このような問題場面でどのように対応するのか」を十分念頭に置きながら受講すること。 ・期末試験の内容は、全15回のテーマで取り上げた内容に対する教員としての見解や学校の組織としての具体的な取組について論述してもらう。

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名 担当教員	教育相談（Educational Counseling） 川上 雄一郎	授業コード	K001551
学修内容				
1. オリエンテーション				
・子供と教育を巡る諸課題について。 ・教育相談からのアプローチについて。 ・生徒指導提要による教育相談の位置づけについて。 ・毎回の講義中のレポート課題、あるいは事例問題を考えながら進める演習形態について。 ・講義資料の取り扱いと評価規準について				
予習 指定教科書 はじめに(i)を読み、マーカーなどを引きながら事前学習する。			約2時間	
復習 レポート課題に取り組み、理論の要点をまとめる。			約2時間	
2. 教師に求められる臨床的視点 ―教育相談の担い手として―				
・教師とカウンセラーについて。 ・カウンセリングマインドの概念について。 ・生徒指導と教育相談について。 ・受容することと指導することの難しさについて。				
予習 指定教科書の当該テーマに関する部分(pp.2-21)を読み、マーカーなどを引きながら事前学習する。			約2時間	
復習 レポート課題に取り組み、理論の要点をまとめる。			約2時間	
3. 子供の発達課題と教育相談				
・乳幼児期、学童期の発達相談について。 ・思春期の発達と教育相談について。 ・青年期の発達と教育相談について。 ・思春期を支え合う仲間・教師集団について。				
予習 指定教科書の当該テーマに関する部分(pp.22-41)を読み、マーカーなどを引きながら事前学習する。			約2時間	
復習 レポート課題に取り組み、理論の要点をまとめる。			約2時間	
4. 学校現場における「問題行動」と教育相談				
・「問題行動」のとらえ方と指導・支援について。 ・不登校問題と指導・支援について。 ・児童虐待問題と指導・支援について。 ・学力問題と指導・支援について。 ・ケータイ・ネット問題と指導・支援について。				
予習 指定教科書の当該テーマに関する部分(pp.42-61)を読み、マーカーなどを引きながら事前学習する。			約2時間	
復習 レポート課題に取り組み、理論の要点をまとめる。			約2時間	
5. 学校現場における「問題行動」と教育相談（ワークショップ型）				
・暴力、いじめ問題と指導・支援について。 ・万引き、金銭問題と指導・支援について。 ・ケータイ・ネット問題と指導・支援について。				
予習 指定教科書の当該テーマに関する部分(pp.42-61)を読み、マーカーなどを引きながら事前学習する。			約2時間	
復習 レポート課題に取り組み、理論の要点をまとめる。			約2時間	
6. 特別支援教育と教育相談				
・特別支援教育の基本的な考え方について。 ・特別支援教育コーディネーターの役割について。 ・専門家と専門機関との連携の仕方について。 ・気になる子どもへのかかわりと学級の取組について。				
予習 指定教科書の当該テーマに関する部分(pp.62-82)を読み、マーカーなどを引きながら事前学習する。			約2時間	
復習 レポート課題に取り組み、理論の要点をまとめる。			約2時間	
7. 予防開発的取り組みと教育相談				
・問題解決的から予防・開発的な教育相談へ。 ・構成的グループエンカウンターについて。 ・ストレスマネジメント教育について。 ・ソーシャルスキル教育について。 ・教室復帰支援、不登校予防支援について。				
予習 指定教科書の当該テーマに関する部分(pp.82-101)を読み、マーカーなどを引きながら事前学習する。			約2時間	
復習 レポート課題に取り組み、理論の要点をまとめる。			約2時間	
8. 予防開発的取り組みと教育相談（ワークショップ型）Ⅰ 発表Aグループ				
・構成的グループエンカウンターについて。 ・アサーション・トレーニングについて。 ・ストレスマネジメント教育について。 ・ソーシャルスキル教育について。 ・ピアサポートについて。				
予習 指定教科書の当該テーマに関する部分(pp.82-101)を読み、マーカーなどを引きながら事前学習する。			約2時間	
復習 事例問題に取り組み、重要事項を整理する。			約2時間	

○授業計画	科 目 名 担当教員	教育相談（Educational Counseling） 川上 雄一郎	授業コード	K001551
学修内容				
9. 予防開発的取り組みと教育相談（ワークショップ型）Ⅱ 発表Bグループ				
・構成的グループエンカウンターについて。 ・アサーション・トレーニングについて。 ・ストレスマネジメント教育について。 ・ソーシャルスキル教育について。 ・ピアサポートについて。				
予習 指定教科書の当該テーマに関する部分(pp.82-101)を読み、マーカーなどを引きながら事前学習する。			約2時間	
復習 事例問題に取り組み、重要事項を整理する。			約2時間	
10. 教師への支援と教育相談				
・教師支援の必要性について。 ・バーンアウトする教師たちについて。 ・教育相談係を核とした連携にもとづく校内体制づくりについて。 ・職場のメンタルヘルスと管理職の役割について。 ・教師同士が有りの末まを語り合える時間と場所をつくる取組について。				
予習 指定教科書の当該テーマに関する部分(pp.102-121)を読み、マーカーなどを引きながら事前学習する。			約2時間	
復習 事例問題に取り組み、重要事項を整理する。			約2時間	
11. 保護者への支援と教育相談				
・保護者の生きづらさとSOSのとらえ方について。 ・わが子が不登校になった保護者の不安と支援について。 ・保護者対象の研修会の取り組みとその工夫について。 ・地域における保護者への支援について。 ・保護者と子どもをつなぐ取り組みについて。				
予習 指定教科書の当該テーマに関する部分(pp.122-141)を読み、マーカーなどを引きながら事前学習する。			約2時間	
復習 事例問題に取り組み、重要事項を整理する。			約2時間	
12. 教師・保護者への支援と教育相談（ワークショップ型）				
・教師が元気になる校内研修の進め方 ～教師同士が有りのままを語り合える時間と場所をつくる～ ・職場のメンタルヘルスと管理職の役割 ・わが子がいじめられているという訴えへの対応について ・わが子が不登校になった保護者の不安と支援について。 ・成績評価へのこだわりの強い保護者への対応について。				
予習 指定教科書の当該テーマに関する部分(pp.102-141)を読み、マーカーなどを引きながら事前学習する。			約2時間	
復習 事例問題に取り組み、重要事項を整理する。			約2時間	
13. 校内の相談システムと教育相談				
・校内の教育相談活動のシステムと内容について。 ・教育相談部の果たす役割と取り組みについて。 ・学生ボランティアの果たす役割について。 ・校内研修の在り方について。 ・ケース・カンファレンスについて。				
予習 指定教科書の当該テーマに関する部分(pp.142-161)を読み、マーカーなどを引きながら事前学習する。			約2時間	
復習 事例問題に取り組み、重要事項を整理する。			約2時間	
14. スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーと教育相談				
・スクールカウンセラー事業の歴史について。 ・スクールカウンセラーの仕事について。 ・スクールソーシャルワーカーの仕事について。 ・不登校とスクールソーシャルワークについて。				
予習 指定教科書の当該テーマに関する部分(pp.162-181)を読み、マーカーなどを引きながら事前学習する。			約2時間	
復習 事例問題に取り組み、重要事項を整理する。			約2時間	
15. 専門機関との支援ネットワークと教育相談				
・医療、教育関係機関との連携について。 ・福祉関係機関との連携について。 ・専門機関の活用にあたって。 ・学校と専門機関とのネットワークのつくり方について。				
予習 指定教科書の当該テーマに関する部分(pp.182-201)を読み、マーカーなどを引きながら事前学習する。			約2時間	
復習 事例問題に取り組み、重要事項を整理する。			約2時間	
16. 期末試験				
○ 全15講で学んだ内容についての論述式試験を実施する。 ○ 試験の内容は、全15回のテーマで取り上げた内容に対する教員としての見解や学校の組織としての具体的な取組について論述してもらう。				
予習				
復習				